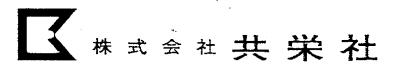
PNK26G

RPROPESS 草刈機 使用説明書

平成12年10月版

▲ 警告

ご使用前に、必ず使用説明書をよく読んで正しく作業してください。 使用説明書の指示内容を守ってください。



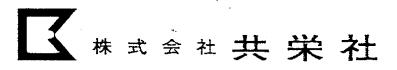
PNK26G

RPROPESS 草刈機 使用説明書

平成12年10月版

▲ 警告

ご使用前に、必ず使用説明書をよく読んで正しく作業してください。 使用説明書の指示内容を守ってください。



はじめに

- ・バロネス草刈機をお買い上げいただき、ありがとうございます。
- ・この草刈機は、軽量・小型に製造されたガソリン エンジン付草刈機です。背丈の低い雑草刈りに使 用してください。
- ・この草刈機に付属している刈刃は草刈用の4枚刃です。灌木や木を切らないでください。
- ・草刈機を改造しないでください。整備不良の草刈機や、改造した草刈機は危険ですので使用しないでください。

▲ 注 意

- ●この使用説明書は、いつでも読めるように、汚損のおそれのない、すぐ取り 出せる所に保管してください。
- ●この使用説明書が損傷により読めなく なったり、紛失した場合は、販売店 から新しく使用説明書を購入してくだ さい。
- ●この使用説明書で解説している機械を 貸与する場合、借りて作業をする人に、 この使用説明書とともに機械を貸与し てください。
- ●製品を譲渡される場合は、この使用説明書を製品に添付してお渡しください。
- ●ご不明なことやお気付きのことがございましたら、販売店にご相談ください。

目 次

bd (00 hc	
警 告表示マーク	
各部の名称	
組立	
正しい作業のために	
操作方法	
点検・整備	
故障診断と対策	
保管	
特別注文品(オプション)	
仕様	

- ・説明書の内容は、製品の標準装備を基本に構成していますが、特別注文品(オプション)やアクセサリを使用する場合も含まれます。
- ・単位はSI単位を使用しています。()内は参考 値ですので数%の換算誤差がある場合もあります。
- ・本書に記載されている仕様や解説あるいは説明の ために例にあげられている図や内容は、改良のた め予告なしに変更することがあります。
- ・本製品は一部部品(メインパイプと飛散防護カバー等)の組立作業が必要となります。

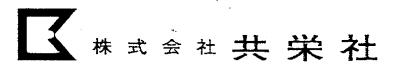
PNK26G

RPROPESS 草刈機 使用説明書

平成12年10月版

▲ 警告

ご使用前に、必ず使用説明書をよく読んで正しく作業してください。 使用説明書の指示内容を守ってください。



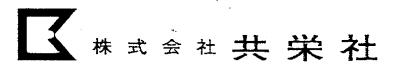
PNK26G

RPROPESS 草刈機 使用説明書

平成12年10月版

▲ 警告

ご使用前に、必ず使用説明書をよく読んで正しく作業してください。 使用説明書の指示内容を守ってください。



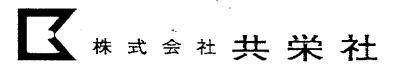
PNK26G

RPROPESS 草刈機 使用説明書

平成12年10月版

▲ 警告

ご使用前に、必ず使用説明書をよく読んで正しく作業してください。 使用説明書の指示内容を守ってください。



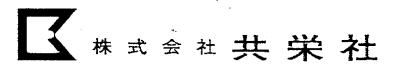
PNK26G

RPROPESS 草刈機 使用説明書

平成12年10月版

▲ 警告

ご使用前に、必ず使用説明書をよく読んで正しく作業してください。 使用説明書の指示内容を守ってください。



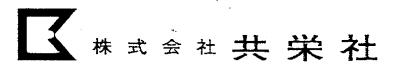
PNK26G

RPROPESS 草刈機 使用説明書

平成12年10月版

▲ 警告

ご使用前に、必ず使用説明書をよく読んで正しく作業してください。 使用説明書の指示内容を守ってください。



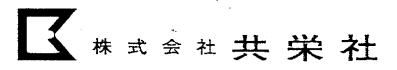
PNK26G

RPROPESS 草刈機 使用説明書

平成12年10月版

▲ 警告

ご使用前に、必ず使用説明書をよく読んで正しく作業してください。 使用説明書の指示内容を守ってください。



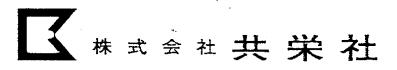
PNK26G

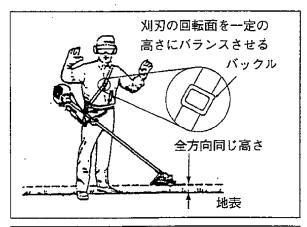
RPROPESS 草刈機 使用説明書

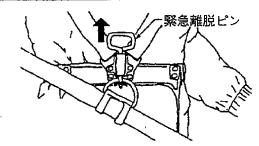
平成12年10月版

▲ 警告

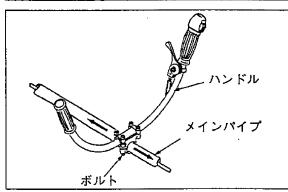
ご使用前に、必ず使用説明書をよく読んで正しく作業してください。 使用説明書の指示内容を守ってください。

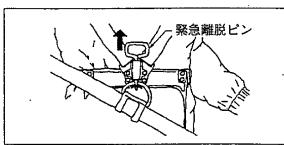


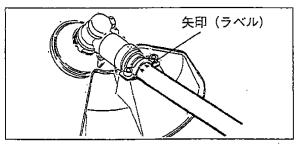




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

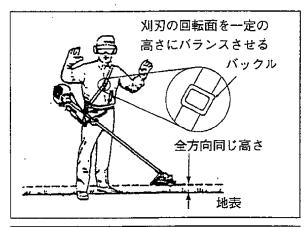
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

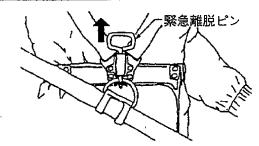
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

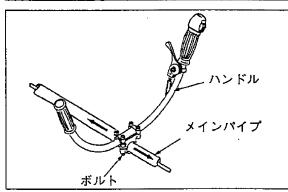
● 飛散防護カバーの位置確認

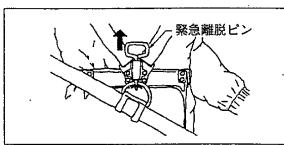
飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。

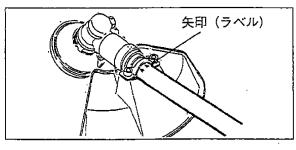




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

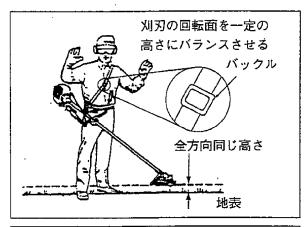
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

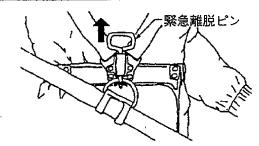
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

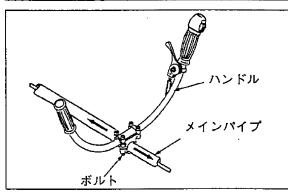
● 飛散防護カバーの位置確認

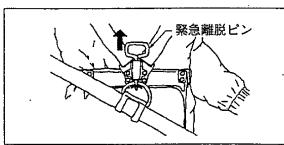
飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。

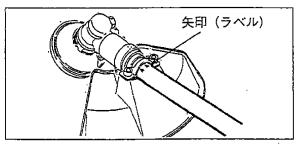




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

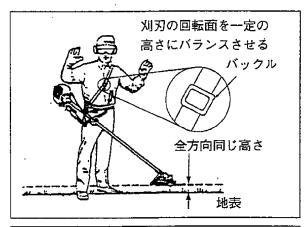
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

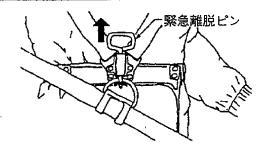
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

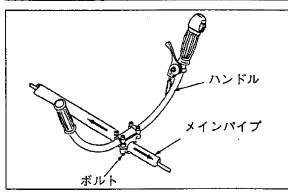
● 飛散防護カバーの位置確認

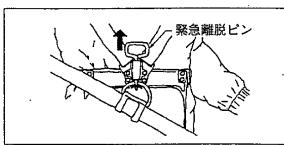
飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。

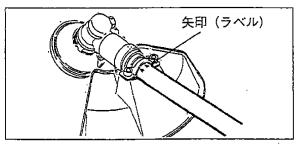




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

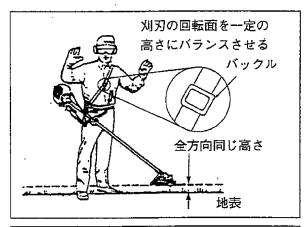
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

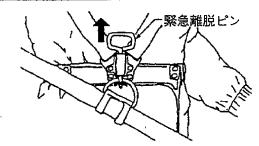
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

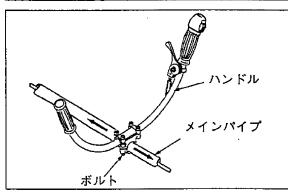
● 飛散防護カバーの位置確認

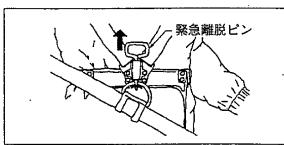
飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。

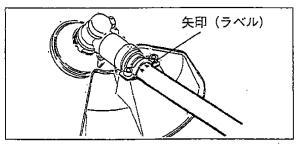




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

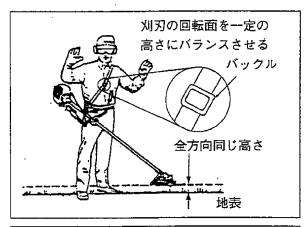
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

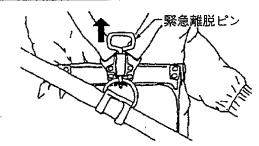
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

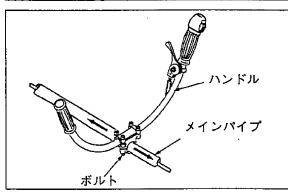
● 飛散防護カバーの位置確認

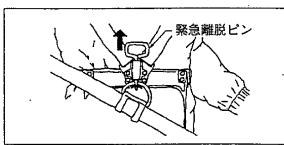
飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。

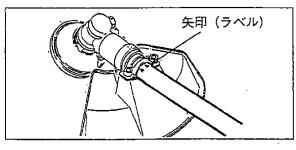




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

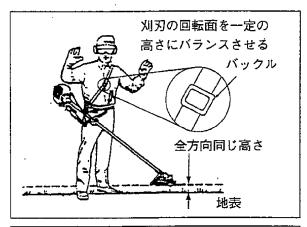
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

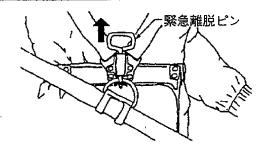
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

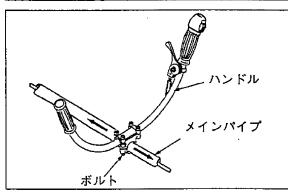
● 飛散防護カバーの位置確認

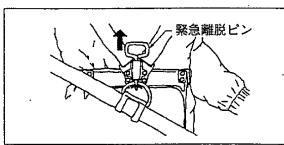
飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。

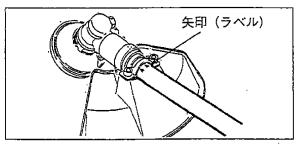




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

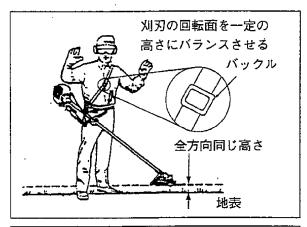
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

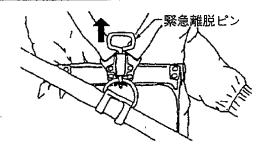
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

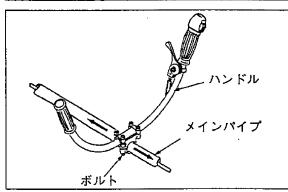
● 飛散防護カバーの位置確認

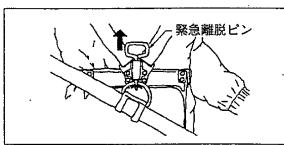
飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。

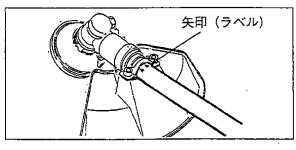




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

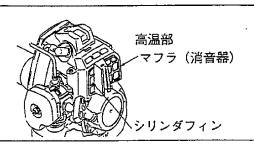
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

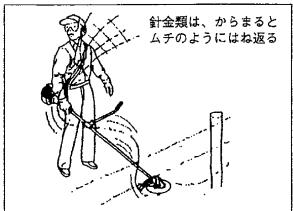
▲ 危険

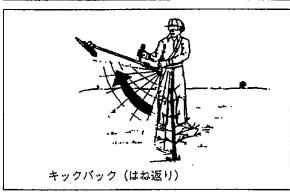
緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

● 飛散防護カバーの位置確認

飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。











▲ 注意

作業中や機械を持ち運ぶときは、やけど等しない ように高温部には十分注意してください。

▲ 警告

作業中刈刃をヒザより高く持ち上げないでください。ヒザ以上に持ち上げると刈刃の回転面が顔の 高さに近くなり、回転する刈刃から飛散する物が 顔面や目を襲う可能性があります。

刈刃の正しい使用法

●岩や石、切り株などの障害物に、刈刃を接触させないでください。

▲ 警告

キックバック(はね返り)に注意すること。

- ●作業中障害物に刈刃が万一接触したとき、刈刃の 反動を受け、突然はね返されることがありま す。
 - (このはね返りをキックバックと言います。)
- ●刈刃を地面にくい込ませないでください。
- ●刈刃が障害物に当たった場合直ちにエンジンを止め、刈刃が止まったことを確認してから、刈刃の損傷を点検してください。
- ●刈刃が曲がったり、変色したり、ナットが摩耗し たりする場合は運転しないでください。

▲ 危険

刈刃を木や障害物に当てないでください。もし 当った場合は大きな衝撃と共に、刈刃が勢いよ くはね返され危険です。

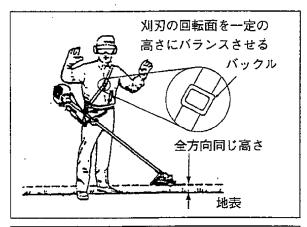
- ●刈刃が障害物に当り衝撃を受けたときは、エンジンを停止し刈刃を確認してください。
- ●刈刃は弊社指定の純正のものを使用してください。

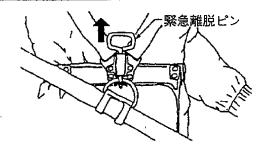
▲ 危険

ヒビの入った刈刃は作業中に飛散することがあり ます。絶対に使用しないでください。

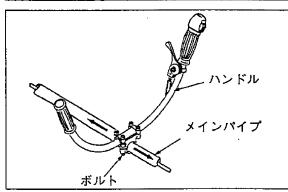
▲ 危険

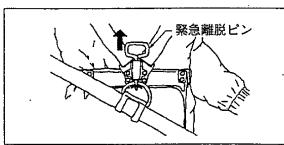
十分に締付けされていない刈刃は、はずれて飛び 出す原因となります。

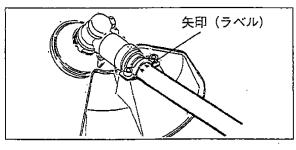




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

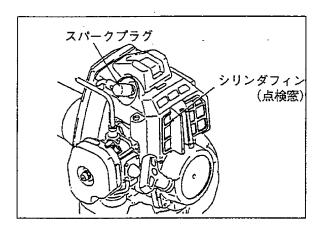
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

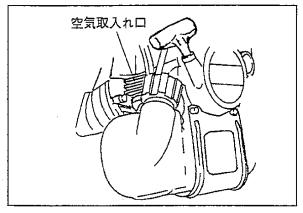
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

● 飛散防護カバーの位置確認

飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。





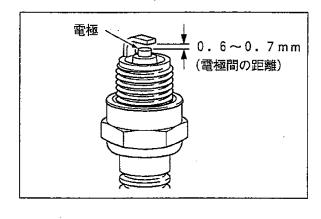


ご使用前に点検してください。

- シリンダフィンの間のゴミと汚れを取り除いてください。
- エンジンの底部と燃料タンクの間にある吸気口の回りについた、ゴミなどを取り除いてください。

重要

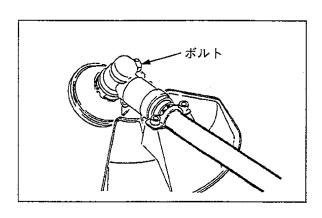
エンジン冷却風の入口や、シリンダフィンにゴミ等がつまりますとエンジン焼き付きの原因となります。



スパークプラグの点検

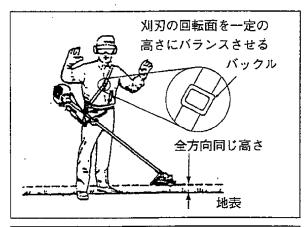
月に一度は点検してください。

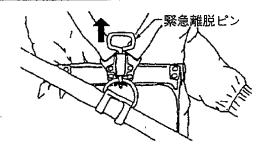
- 付属のソケットレンチでスパークプラグを外してください。
- 2. 電極が減っているとき、すき間不良のとき(正しいすき間は 0.6 ~ 0.7mm = ハガキ 3 枚分の厚さ)、また電極の周囲にオイルや沈殿物が付いているときは、新しいプラグと交換してください。
- スパークプラグは、14.2~15.2N・m (145~155kgf・cm)のトルクで しっかり締め付けてください。



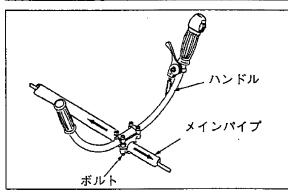
ギヤケース

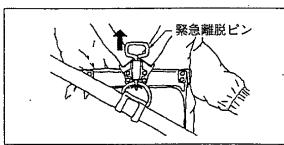
● 年に一度は、販売店で注油してもらってください。

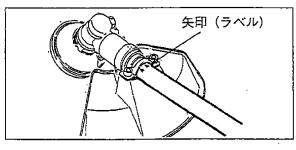




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

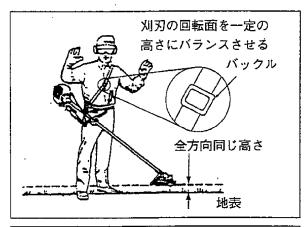
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

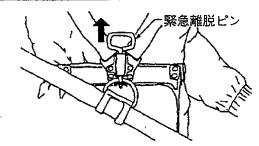
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

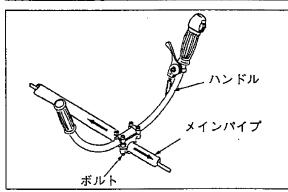
● 飛散防護カバーの位置確認

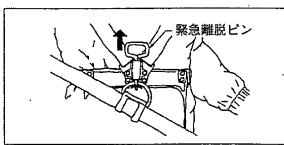
飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。

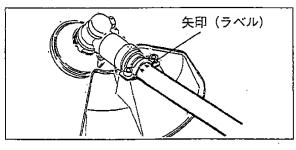




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

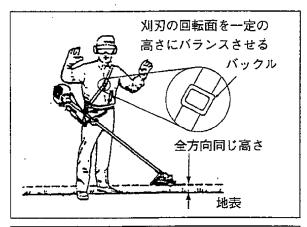
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

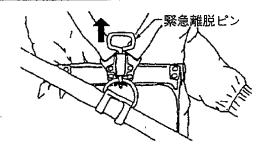
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

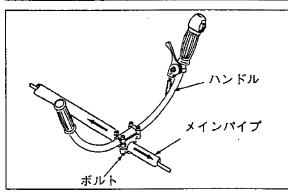
● 飛散防護カバーの位置確認

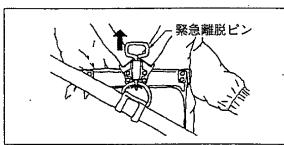
飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。

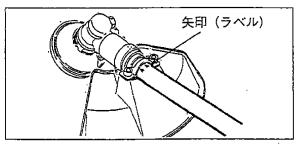




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

▲ 危険

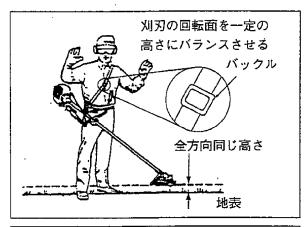
緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

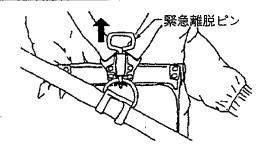
● 飛散防護カバーの位置確認

飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。

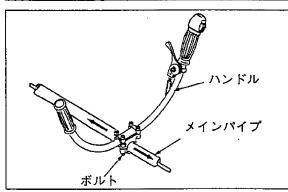
(仕様)

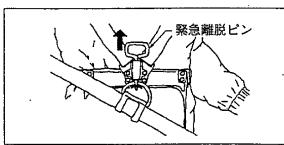
項目	単 位	形 式
		PMK 2 6 C
質 量 ・本体 刈刃ユニット 本体、刈刃ユニット	kg kg kg	2.8 1.9 4.7
容量 燃料タンク	L	0.58
刈刃ユニット 形式 歯車滅速比及び潤滑剤 刈刃		S 2 6 0 U 減速比 1:1.36 シェルアルバニア EP-2 または高品質リチウムグリース 4 枚刃 (230 m m)
刈刃駆動軸回転方向 (ギヤケースの上から見る)		反時計方向
外形寸法 長さX幅×高さ	cm	176 × 58 × 37
エンジス 形気量 最大工学ン回転数 最大工学のでは数 最大工学のでは数 アクラップが クラップが イラップが イラップが インジンの を がいま数 インジンが がいま数 インジンが がいまする で がいまするが は ないまするが ないまがまが ないまがまが ないまがまが ないまがまが ないまがまが ないまがまが ないまがまが ないまがまが ないまがものが ないまがらが ないまがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがもがも	mL r/min r/min r/min	空冷2サイクル単シリンダ 25.4 7,500 11,000 2,700~3,300 3,500~4,000 T K ダイヤフラム式 フライホイールマグネト電子点火:TCI 方式 N G K B P M 7 Y リコイルスタータ 自動遠心クラッチ
燃料混合比		[25:1] ・市販の2サイクルエンジンオイル ・JASO性能分類 FB、FA相当品
最大エンジン出力時 燃料消費量	L/h	0.68

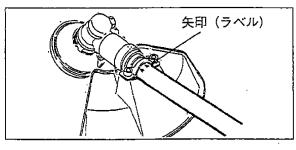




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

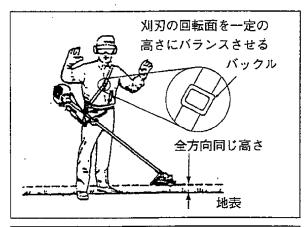
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

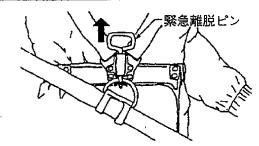
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

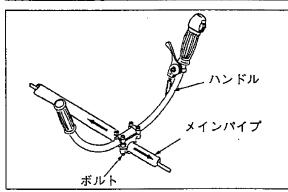
● 飛散防護カバーの位置確認

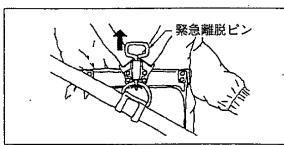
飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。

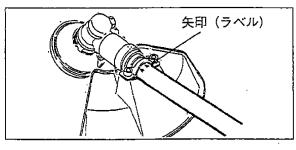




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

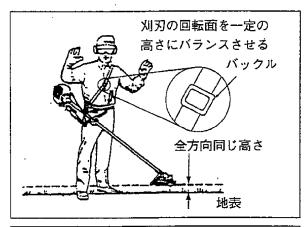
▲ 危険

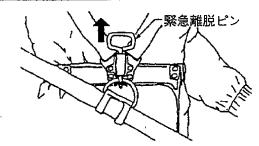
緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

● 飛散防護カバーの位置確認

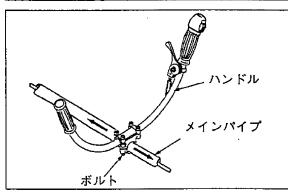
飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。

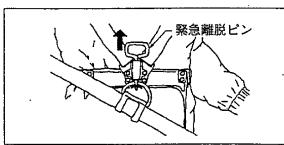
株式会社 共 栄 社 愛知県意川市美幸町 TEL(05338)4-1221 代

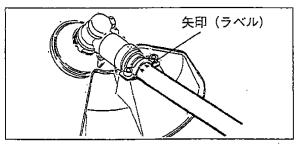




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

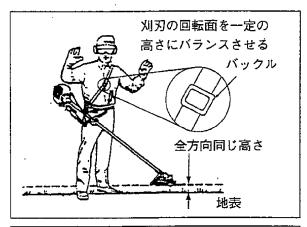
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

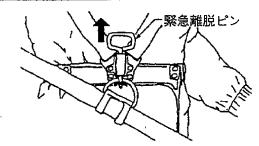
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

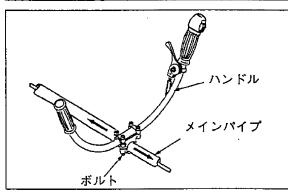
● 飛散防護カバーの位置確認

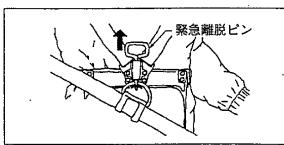
飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。

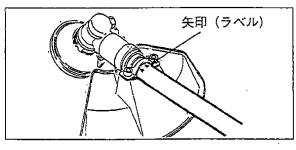




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

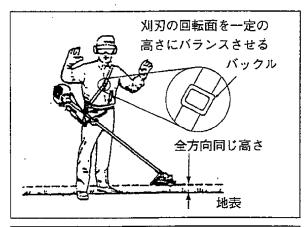
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

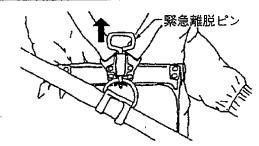
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

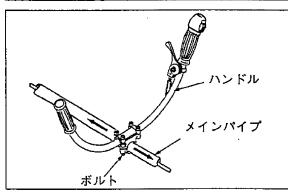
● 飛散防護カバーの位置確認

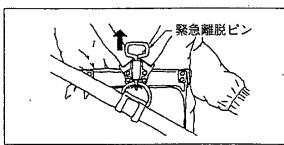
飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。

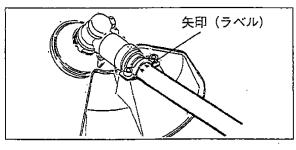




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

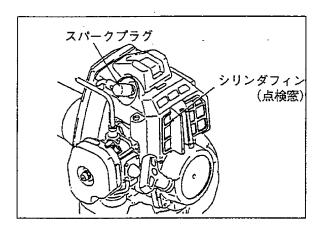
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

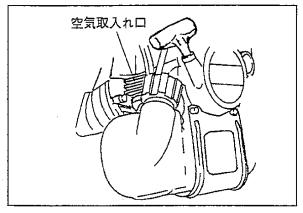
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

● 飛散防護カバーの位置確認

飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。





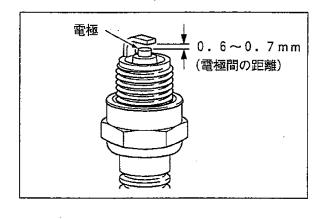


ご使用前に点検してください。

- シリンダフィンの間のゴミと汚れを取り除いてください。
- エンジンの底部と燃料タンクの間にある吸気口の回りについた、ゴミなどを取り除いてください。

重要

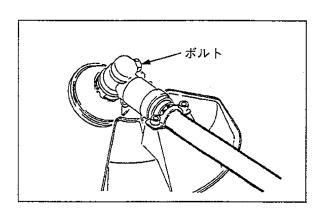
エンジン冷却風の入口や、シリンダフィンにゴミ等がつまりますとエンジン焼き付きの原因となります。



スパークプラグの点検

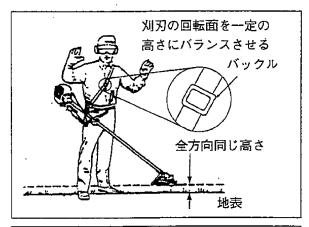
月に一度は点検してください。

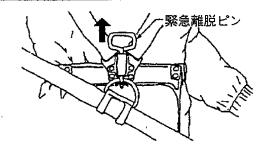
- 付属のソケットレンチでスパークプラグを外してください。
- 2. 電極が減っているとき、すき間不良のとき(正しいすき間は 0.6 ~ 0.7mm = ハガキ 3 枚分の厚さ)、また電極の周囲にオイルや沈殿物が付いているときは、新しいプラグと交換してください。
- スパークプラグは、14.2~15.2N・m (145~155kgf・cm)のトルクで しっかり締め付けてください。



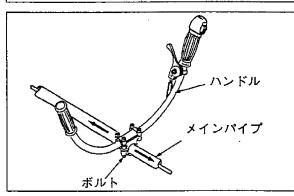
ギヤケース

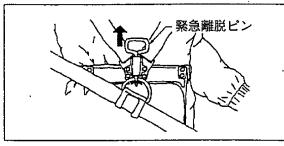
● 年に一度は、販売店で注油してもらってください。

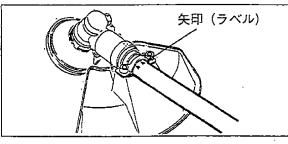




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

- ハンガの調整
- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。
- ●ハンドルの調整
- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

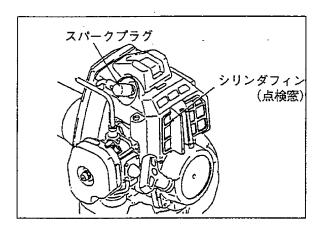
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

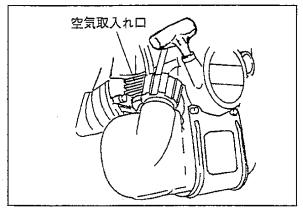
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

● 飛散防護カバーの位置確認

飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。





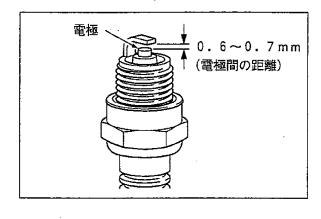


ご使用前に点検してください。

- シリンダフィンの間のゴミと汚れを取り除いてください。
- エンジンの底部と燃料タンクの間にある吸気口の回りについた、ゴミなどを取り除いてください。

重要

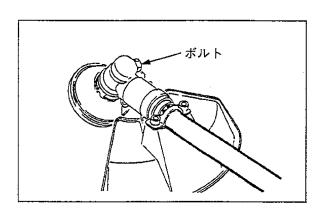
エンジン冷却風の入口や、シリンダフィンにゴミ等がつまりますとエンジン焼き付きの原因となります。



スパークプラグの点検

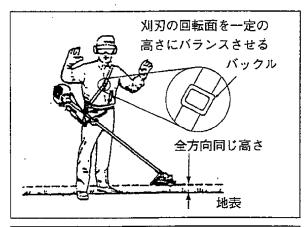
月に一度は点検してください。

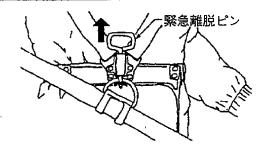
- 付属のソケットレンチでスパークプラグを外してください。
- 2. 電極が減っているとき、すき間不良のとき(正しいすき間は 0.6 ~ 0.7mm = ハガキ 3 枚分の厚さ)、また電極の周囲にオイルや沈殿物が付いているときは、新しいプラグと交換してください。
- スパークプラグは、14.2~15.2N・m (145~155kgf・cm)のトルクで しっかり締め付けてください。



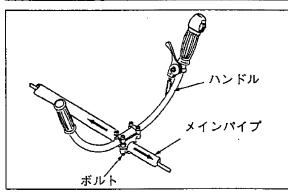
ギヤケース

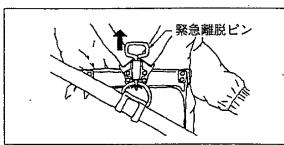
● 年に一度は、販売店で注油してもらってください。

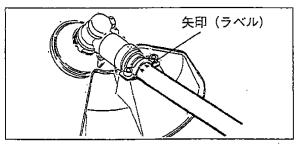




- ●ハンガを緊急離脱のクランプにかける
- ●メインパイプ上でハンガを移動させ、刈刃 が地面から決められた位置で回転できるよ う調節する







最適なバランスは、刈刃と飛散防護カバーが地上から数cmの高さが最適バランスです。

●肩掛けバンドの調整

肩掛バンドをたすきにかけてクランプ(左図参照)が腰の位置にくるように、バックルで調整してください。

肩掛けバンドは体の右側です。 もしバランスが悪いときは以下の方法で調整して ください。

● ハンガの調整

- 1. ハンガは、メインパイプ上を前後に移動でき、バランスが良いところを見つけられます。ハンガを動かして、刈刃と飛散防護カバーが決められた高さに来るように調整し、固定してください。
- バランスと高さの調整には、ハンガの位置と肩掛けバンドの再調節が必要です。
 刈刃と飛散防護カバーをつけてバランスの調整をしてください。

●ハンドルの調整

- 1. メインパイプにハンドルを固定している下の2本 のボルトをゆるめて、作業者に合せ、作業のしや すい位置にハンドル固定具を移動してください。
- 2. 移動しおわったら緩めたボルトをしっかり締めなおしてください。

▲ 警告

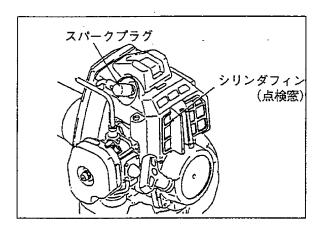
この草刈機はさまざまな身体サイズに合うように 設計されていますが、バランスがとれない場合は 販売店にご相談ください。

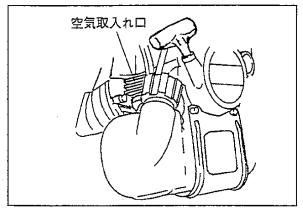
▲ 危険

緊急の場合、緊急離脱ピンを上に引き、機械を 身体から離すこと。

● 飛散防護カバーの位置確認

飛散防護カバーが正しい位置に取付けられているか確認してください。





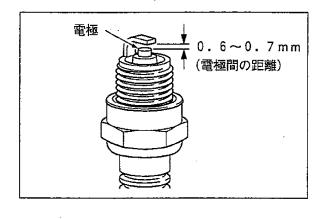


ご使用前に点検してください。

- シリンダフィンの間のゴミと汚れを取り除いてください。
- エンジンの底部と燃料タンクの間にある吸気口の回りについた、ゴミなどを取り除いてください。

重要

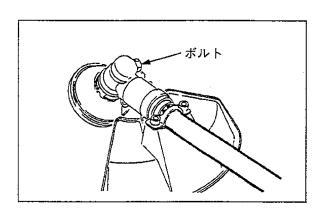
エンジン冷却風の入口や、シリンダフィンにゴミ等がつまりますとエンジン焼き付きの原因となります。



スパークプラグの点検

月に一度は点検してください。

- 付属のソケットレンチでスパークプラグを外してください。
- 2. 電極が減っているとき、すき間不良のとき(正しいすき間は 0.6 ~ 0.7mm = ハガキ 3 枚分の厚さ)、また電極の周囲にオイルや沈殿物が付いているときは、新しいプラグと交換してください。
- スパークプラグは、14.2~15.2N・m (145~155kgf・cm)のトルクで しっかり締め付けてください。



ギヤケース

● 年に一度は、販売店で注油してもらってください。

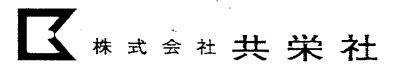
PNK26G

RPROPESS 草刈機 使用説明書

平成12年10月版

▲ 警告

ご使用前に、必ず使用説明書をよく読んで正しく作業してください。 使用説明書の指示内容を守ってください。



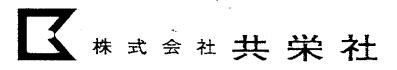
PNK26G

RPROPESS 草刈機 使用説明書

平成12年10月版

▲ 警告

ご使用前に、必ず使用説明書をよく読んで正しく作業してください。 使用説明書の指示内容を守ってください。



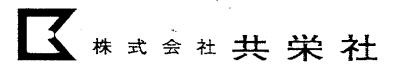
PNK26G

RPROPESS 草刈機 使用説明書

平成12年10月版

▲ 警告

ご使用前に、必ず使用説明書をよく読んで正しく作業してください。 使用説明書の指示内容を守ってください。



株式会社共 栄 社 愛知県夏川市美幸町 TEL(05338)4-1221 代